

アンチヨビ 我が最愛の敵

@nijieth presents Mein liebster Feind



アンチヨビ 我が最愛の敵

@nijieth presents Mein liebster Feind



Mein liebster Feind



安斎！
なぜ丘を越える別動隊の
動きを報告しなかった！

この敗戦はB小隊長である
お前の責任だ！

こっちに敵の本隊が来てるのが
分からなかったのか！？
それを止めるのがA小隊の
仕事のはずだったろ！？

何でも人のせい
するんじゃないぞ
西住！

神奈川県
S大学戦車道チーム

紅白練習試合

於・日本戦車道連盟
共用演習場

やはり
西住まほと安斎千代美……
あの2人が一番やるわね!

当然だろう……西住まほは
西住流の後継者にして
黒森峰女学園の元隊長

安斎さんは?

アンツイオ高校の隊長
だったんだって

えっ、あのドゥーチエ
アンチヨビなの!?

それにしてもあの2人……
いつでも犬猿の仲ね

それだけあの2人は
真剣ということだろう

私、西住さんってのもっと
クールな人だと思ってた……

あんなに西住さんを怒らせ
られるのは安斎さんくらいだよ

しかも
知ってるか?あの2人……

マンションの同じ部屋を借りて
一緒に住んでるんだとさ

嘘でしょ!?

じゃあ、家に帰って
もずりつとあの
調子なわけ!?

まさにガチ勢……
365日24時間戦車漬けの
生活……

それも青春
……かな?

え……私は
もっと
『エンジヨイ勢』
でいきたいよ

ゆっくりお風呂に
入ったりさ、
おいしいもの
食べたり、
愛を語らったり……

うあー!! 私
そんなの絶対無理!

あんだ彼氏
いたっけ?





もう一回……



私と西住は
ほんとうの関係
を
秘密にしていた

部屋に帰る頃には私は
すっかり我慢ができなくなっていて、
ドアを閉めた瞬間ただいまのキスを
始めるのが習慣になっていた



今日の夕飯
何にしよっか？

なんでも
いい……

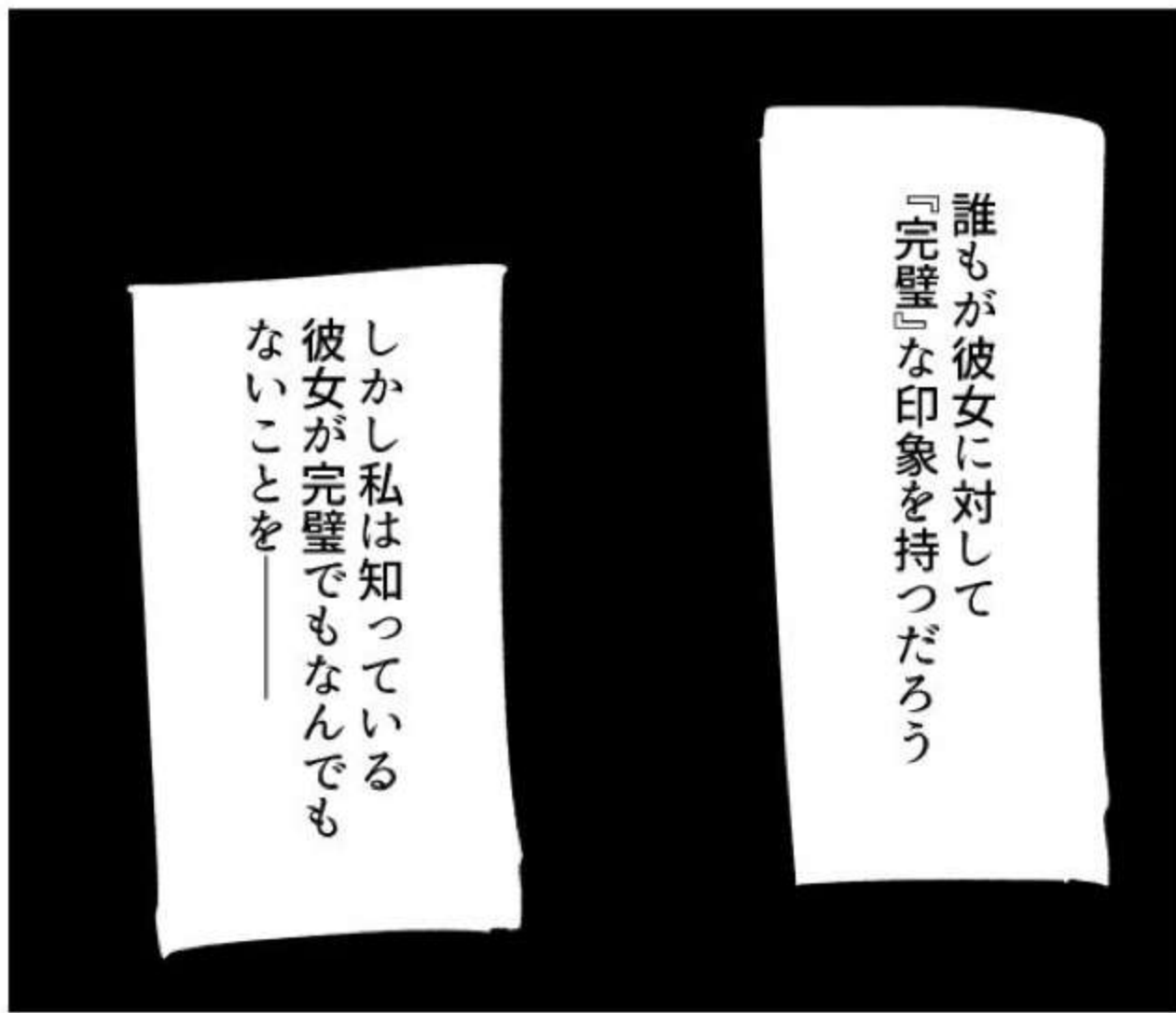
お前はいつも
そればっか
だなー





西住！お前何食べても
おいしいしか言わないから
張り合いがないぞ……

おいしい



誰もが彼女に対して
『完璧』な印象を持つだろう

しかし私は知っている
彼女が完璧でもなんでも
ないことを――



西住まほ――

西住流の後継者にして
黒森峰女子学園戦車道チーム
の元隊長

類まれなる才能と
揺るぎなき立ち居振る舞い



おーい西住！

実家から持ってきた
ゲームで私と勝負だ！





安齋
久しぶりに
やろう



西住が人前で見せる完璧さは、
彼女が入念に準備をしている
リーダーとしての模範的な姿なのだ

その裏側では……西住は
ごく普通の女の子と言えた

私だけが知っている
もう一つの顔

だが……



こいつう……
最近よく一人で
やっていると
思ったら……



Player 2 Wins!!

あっ!?



3,687,542



定器……



西住は、私に対しても
弱みを見せたままに
するのを好まなかった

恐れ入った……

彼女は自分にも他人にも決して
妥協しようとする女なのだろう
……私は、それは西住の
長所だと思っていたし
そんな西住のことが好きだった

そう思っていたのに……
ある日、それは起こってしまった



おお……!?

どうだ

ある日

お、西住
ここ入ろう！

なーなー
何にする西住？
もう決めたか？

.....

安斎、話がある

向こうの
席に移ってくれ



人前で私にベタベタするのは
みっともないからやめる安斎

それはしないよう
前に約束しただろう

え!?

でもそれは...大学の
仲間たちが私たちの関係を
知ると無用な噂が立つからって...

どこでも同じだ

でも...でもお前今まで
嫌だと言ったことなんて...

何度もある

うっ...

ずっと...
ずっとそう
思ってた？
それじゃ
私.....

私...
バカみたいだ

そんなこと
...突然
言われたって
分かるわけ
ないだろ...

おいかさね
そうだったかも...

あめろ

西住

私と一緒にいるのが
恥ずかしいか……？

人に見られたらみつともないって
そう思ってるのか……？

何とか言えー!!

お前はいつもそうだ!

どうして私と
話し合えないんだ?

お前はお前が決めたルールで
お前が判断して、それだけなんだ!

あらかじめ答えを考えてない
ことについては、夕飯に何を
食べたいかだつて答えられない!

今だつてこの店に入った時から
話すことは全部決まつてた! そうだろ?

そして話すことを話したら
あとはダンマリ! それがお前だ!!

もうここ
出るぞ……

私は何言つてんだ!
このまま怒つて自分だけ
出てつちやえばいいのに……

待つて

スーパーで食材
買うから……

今夕飯を気にして何になる?
そんなもの放つとけ……

安齋は……

安齋はいつもと変わりなく
私に夕食を用意してくれた

これが安齋の決めたルールで……
今もそれに固執することで、
私に当てつけているのだろうか？

おいしい……

これが当てつけ
だとするなら

なんて優しい
当てつけなのだろう……

安齋の「どうせお前は何食べても
『おいしい』しか言わないんだろ？」
という顔……

試合終了!!
白チームの勝利!!

ウソお……
私たち、上級生チームに
勝っちゃった……

信じられない……

恐るべし
西住流……



あの2人
最近息が合ってるわよね

そりやいつまでも
ケンカしてはいられないでしょ

これでチームも安泰だね!

私と西住の生活は
戦車道でも、その他でも
何も変わらず進んで
いった

玄関のキスと会話だけが
なくなつて……

私たちの繋がりが
なくなつても今まで通り
暮らしていけるのなら、
私たちが同じ部屋に住んで
いる意味はあるのだろうか?

西住がそう考えた
したら……

次に西住が私に
話しかけてきた時は……

そしてある日の夕方

ダイニングに一通の
手紙が置かれていた





寝てる...



来た……!!

そして翌朝

明日みほに会いに大洗まで出かける
一緒に来るなら支度しておいてくれ



なんで先に
行っちゃうんだ!

これがほぼ1ヶ月
ぶりの会話だった



ハア

ハア……



おお——
待ってくれ——
!!





安齋……2人で
話したいことがある



間もなく柏に
到着いたします



西住……
なんだ……？



デツキに来てくれ



私が間違っていた……
謝らせてほしい



この前言った事も
今までの取り決めも
全て撤回する

お前に言われたことを
ずっと考えていた

私は私の決めた道を行くことしかできないと……

その通りだ

そしてその愚かしさを
ようやく理解した……

ぎゅっ

お前を失うことに比べたら
そんなものの何の価値もない

お前が好きだ
安斎

私を許してほしい……!

……それも全部言うことは
最初から決まっていたんだな
………?

手紙を書いたときから
全部………

お前ってば、本当に
用意した言葉しか
言えないんだから………!!

そんなお前が大好きだ
西住い………!!

安斎……

柏
柏に到着です



お降りの際は
お忘れ物のないよう
お気をつけください

はい柏
柏、です



アンチヨビさん、
お姉ちゃんと随分
仲良しなんですネ……

いつもそんな感じ
なんですか？



……
お母様からの言伝は以上だ

そして、みほが大学に入って以降も
金銭その他の面で援助は
惜しまない……とのことだ



うん
ありがとうお姉ちゃん……

ところで



おう！

いつもずーっと
こんな感じだぞ！

な、西住！

お風呂、入れよっか



元はといえば私が……



何に対して？



ごめんな西住……

……



私を気遣ってくれて優しいたわりを感じる……

気持ちいい……

西住の口は話し下手なのにキスは……

幸せ……



唇……



舌と舌が吸い付くみたい……



安斎はこの下腹のあたりを
刺激されるのが好き
だったな……………



私のベッドはだめだ
今すぐく汚れてる

ベッド、行こっか…………

うん…………

でも一番感じやすく
なるのは唇…………

ギョツて押されると
全身が反応して敏感に
なる…………



んっ...

んっ...

ちゅっ

ちゅっ

この形...
好き...

全身が西住と
繋がってる感じがする...

ぎゅ

ぎゅ



あぁあ
あぁあ
あぁあ

ぐっ
ぐっ
ぐっ



ぐっ
ぐっ

ぐっ
ぐっ



西住……
私、もう……



中に
入れて直接
刺激してあげる



そうか……

じゃあ最後はこの指を



唇……一番敏感になる唇で……？



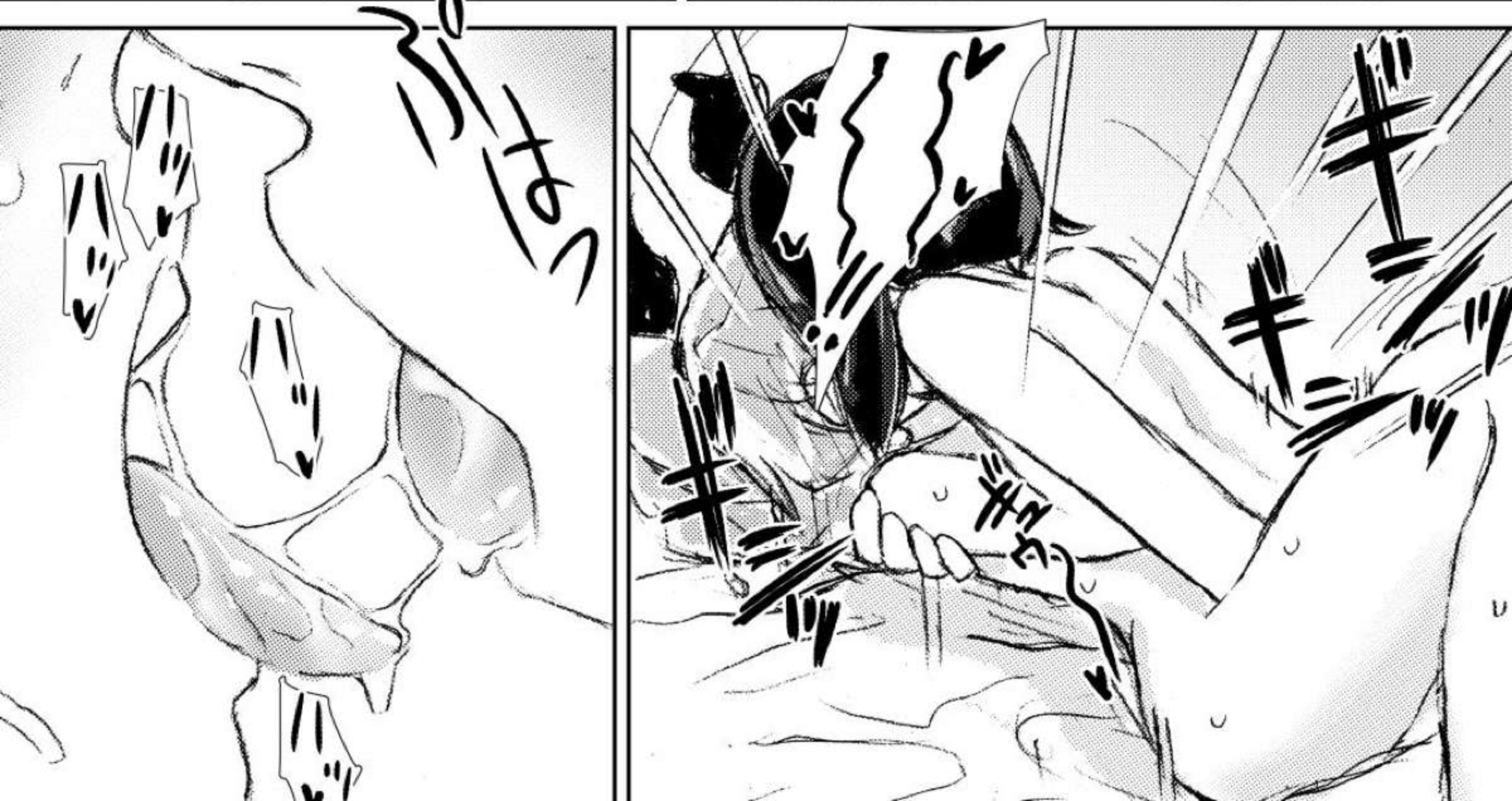
心配するな
私が抑えてあげるよ

唇で……

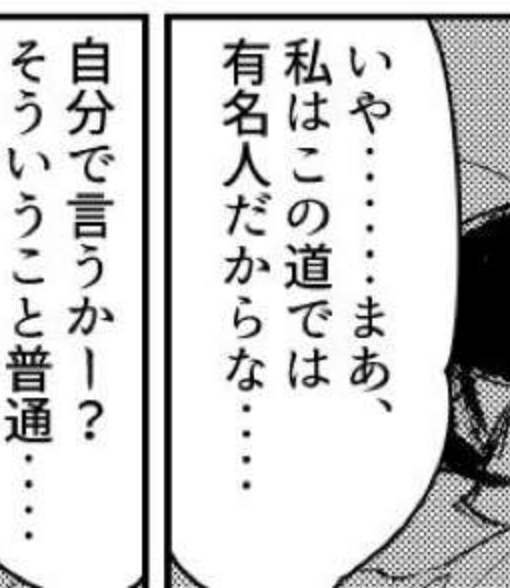


だ、だめだあ……
そんなことされたら
私我慢できない……

大声を上げて近所中に
聞かれちゃうぞ……







これは西住には
話せない……………

私にとつての
西住まほの物語
……………

名古屋ティーガーズ
全車輛走行不能!

豊田キッズタンカース
クラブの勝利!

中学生の頃、地元ของทีมが
地区大会で優勝し、私は隊長だった

その時私は、私が
戦車の道を進めることを確信した

私は黒森峰女学園への
進学を希望した

その理由は……………

西住まほだった

特集! 中学戦車道の

西住まほ……
西住流……か……

西住流がなんだ!
私は絶対負けたりなんか
しないぞ!

待ってる黒森峰! 私は
必ずこいつを超える
選手になってやる!

戦車道

西住まほ 選手(15)

どうして……私は……!!

私はちっぽけなアンツイオ高校を軽蔑した
私はちっぽけな戦車を軽蔑した
私はちっぽけな私を軽蔑した

その時、高校一年生のとき
私は二度と立ち直れないと思っていた

おい

アンチヨビじゃないか!

大学選抜チームと
戦ったとき以来だな

そして大学生になった

西住……!

西住は私に会ったことを覚えていた
私の大学選抜戦での活躍もすべて……

そればかりか、私がアンツイオ高校の
戦車道を盛り上げようと努力し続けて
いたことも知っていたし

私の本名が安斎千代美で、
中学時代頑張っていた選手だった
ことまで調べ上げていた

西住は少しでも見所のある戦車乗りの
ことは全てチェックしていて、私も
その一人だったにすぎないのだろうが、
しかし、ともかく

西住まほも、私を知っていた

これからは
チームメイトだな

安斎!

……チームメイト……
西住まほと私が……

西住まほに対する
羨望と敵愾心は
尊敬と対抗心に裏返り

私たちは1回生同士
好敵手となった

それはすぐに
友情に昇華し

私たちは親友になった
他の仲間たちはそのことを
知らないままだったが……

二ヶ月が経つ頃には

私たちの関係はさらに
特別な物へと変化していた

西住

今夜は……

私の部屋に
来てくれ……

安斎……

この部屋は手狭だと
思ったことはないか?

2人で……もっと広い部屋を
借りて、一緒に暮らしたい

へ!?

これが私にとっての西住まほの物語
私にとっての西住まほ それは……

西住……
私は……



私は絶対
お前に負けない

必ずお前を超える
選手になってみせる

そうか……

嬉しいよ……
今まで人から
そういうことを言われた
ことなんてなかったからな……



ん……



ちよつと待て

それは自慢か!?

え?

チユニ
チユニ

コーヒー淹れるけど
安斎も飲むか？

あーうん……
のむのむ……

私は朝の自主練に
行ってくる

えー……私は午前中
講義ないから寝てる……

なあ安斎……
昨夜考えたんだが……

もう私たちの関係を隠しておく
必要はないんじゃないかと思う

みんなに少しずつ私たちのことを
知ってもらって……

それがチームの為だし、
私たちの為でもあると思う

あーうん

いつてらっさーい……

グウ……

今日早速
E車の4人を
うちに誘ってみようと思う

あーはい……
いいんじゃない
でしょうか？

みんなのために
料理を作ってほしい

ええっ

西住さんと安斎さんの
部屋でお食事を!?

行く行く行く
行きます行きます!

もっと私たちのことを
知ってほしいと思って……

これからもチームメイト
だから……

わあ……

素敵な
キッチン……

思ってたより
普通ね……

「綾波レイの部屋」
みたいな想像
してたわ……

安斎さんは?

今夕食の買い出しに
出かけてる

もうすぐ戻って……

ここ西住さんの部屋……?

あっ

なんかイメージと違う
……

うわっ汚っ!

ベッドの上まで物が
ゴツチャリ……

ヒッ
ヒッ

西住さんこのベッドでいつも寝てるんですか？

西住流の知られざる一面を覗いてしまった感じ……？

いや、あの……

その……これは……

あ、そうだ昨日はここで寝てないんだ

忘れてたな……

ふ

ん

聞いた？昨日寝てないんだって

やはり改造された戦車道マシーンか何か……

おう西住!! 今帰ったぞ!!

お、おかえり安齋

それより今……

はい、ただいまのチューー!!

ちゅー

安齋、早く来てくれ

そうだ、みんなにコーヒーを……



やめろって!!



や、やめろ……



昨夜 私のベッドの上
にいたお前はどこに
行ってしまったのかな?
このこの!



なんだろ?
照れちやつてえ



だからこの週末は
ゆっくりと……な?



2人じゃ3日かかっても
食べきれないほど
作れるぞ!

見ろ! 材料こんなに
買いこんできた!





「ガールズ&パンツァー」同人誌
アンチヨビ、我が最愛の敵
Mein Liebster Feind

えいす @nijieith

2017年1月22日 初版

印刷：(有)ねこのしっぽ